

施策分析シート

No1

施策名	余暇を利用した学習機会の提供	施策No	03-03	部課名	教育委員会事務局学務課	
関連部課名	教育委員会事務局庶務課、教育委員会事務局社会教育課、教育委員会事務局指導室					
行政評価 事業体系	分野	産業・教育・文化				
	政策	心身ともに健やかな子どもの育成				

目的	放課後や土・日曜日、長期休業期間に、既存施設を活用し児童生徒の学習や運動の機会を提供する。
----	---

指	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)	
①	校庭利用年間延べ人数	31,893	34,309	38,000	44,400	目標実施回数×実施一回あたりの目標利用人数
②	チャレンジサタデー実施率	106.1%	99.4%	100.0%	100.0%	実績／（全学校×10回）
③	小学校科学教育センター参加者数	40人	48人	48人	60人	収容人数
④	中学校科学教育センター参加者数	43人	42人	60人	60人	収容人数
⑤	校庭利用実施回数	1,945回	1,865回	2,117回	2,200回	

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校庭や学校プールなど既存の教育施設を活用して、児童生徒の学習や運動の場を提供してきており、今後も引き続き実施していく必要がある。 ○ 校庭開放や校庭利用事業は、児童生徒の安全を確保と場所を提供するため、区民や保護者の協力を得て事業運営しているが、区民参加を一層進めていく必要がある。 ○ 平成14年度から開設を休止している八ヶ岳学校キャンプ場について、今後の活用策が検討課題になっている。
-------	--

今後の方向性	区内における広場や空き地の状況を踏まえ、既存の教育施設を有効に活用するとともに、利用者数の増加を図るため、地域や保護者の協力を得ながら、事業内容の吟味と運営方法の改善を検討していく必要がある。
--------	--

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
B	既存施設を有効活用した本施策は区民ニーズも高く、遊び場が十分にあるとはいえない区内において、子どもの健康と体力の向上に寄与するものであるため、重要な施策である。

施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
週五日制校庭開放事業	12-01-15	722	723	C	生徒の利用状況を踏まえ、事業の見直しを図る必要がある。
学校プール運営	12-03-12	8,689	9,049	B	児童生徒の基礎体力づくりに有効であり、優先度は高い。
八ヶ岳学校キャンプ場	12-03-33	116	143	D	休止状態が4年以上継続しており、他の活用策を検討する。
校庭利用運営費	12-04-13	4,827	4,825	C	児童に安全な遊び場を提供している。
チャレンジサタデー教室	12-06-08	570	789	A	児童・生徒に対して、様々な休日の過ごし方を考えさせる場として、継続する必要性は高い。
科学教育事業運営	12-06-38	1,024	956	B	多様な科学教育の実施は不可欠であるが、参加者数の増加に向けた改善策を検討すべきである。
合 計		15,948	16,485		